

民報 ゆうばり 安倍政治継承の菅政権もNO!

9月議会「無症状者を含めたPCR検査を」

「新型コロナウイルスに対する市の対策について」

くまがい市議質問

くまがい議員【質問】

医療・介護施設・学校等で、PCR検査の大規模実施をすべきではないか。

厚谷市長【答弁】

現在市内での発生者はいないので、必要ないと考えている。

くまがい議員【意見】

厚労大臣が記者会見で感染流行地域や、医療・高齢者施設などでの幅広いPCR検査の実施を道府県に要請すると発表している。国会で山添拓参議が、「無症状者を含めて幅広い検査をすれば、予算規模も大幅に膨らむ。政府が自治体負担分を含めて、十分な財政保障をするべき」と求めたところ、厚労大臣は「地方公共団体が、予算がないから検査できないということがないようにしたい」と答弁している。GOTOキャンペーン等で、観光客の増加とともに、感染リスクは増大する。無症状者を含めた幅広い検査が感染拡大を抑止する。是非とも必要な検査はしっかりと実施し、今後感染者が出たとしても、感染を広げないよう最大限の施策を要望する。

くまがい議員【質問】

市民への情報開示・PCR検査を受ける際の交通手段に対する広報についての考えは。

厚谷市長【答弁】

情報は道のHPや記者会見等で発表されている。検査を受ける際の交通手段も含めて、電話で相談していただくよう、説明している。

くまがい議員【意見】

PCR検査を受ける際の交通手段について、不安を感じている市民に向けて、わかりやすく安心できる説明を要望する。

くまがい議員【質問】

陽性者の隔離・保護、治療体制についてどのようになっているか。

厚谷市長【答弁】

陽性者への対処については、指定感染症法に基づいて、道に権限がある。(2面に続く)

戦争法(安保関連法)強行採決から、ちょうど5年の9月19日、3年目を迎える「9条改憲NO!1市4町の会トラックキャラバン」の、街宣車と軽トラ3台、約15名が5つの街を一日かけて回り、地域の住民とともに訴えました。

南幌からスタートし、まず社民党から、

「戦争法」強行採決から5年
1市4町トラックキャラバン



道連浅野幹事長が、大竹登共産党町議と、大久保雅子さんが、栗山では、元共産党町議の重山雅代さんと小谷美和子さんが、それぞれ訴えました。Gブラザーズの3人が、ギター演奏と替え歌を披露、「いまでもどこでも何度でも、日本を救う合言葉、PCR検査をうけよう」と歌い、(地球に)核ゴミはいらないつく合間を、雨がパラつく合間を、

(1 面から続く) 道の指示に協力したい。

くまがい議員【意見】

市内で陽性者が出た場合、市民への注意喚起とともに、患者や家族等に対しての「誹謗中傷の防止」を積極的に発信していただきたい。

くまがい議員【質問】

受診控え等で医療機関の減収が起きている。収入の補填や検査機器、治療機器、感染防止設備の導入に対する補助を抜本的に拡充すべきでは。

厚谷市長【答弁】

収入の補填については国の施策を積極的に紹介していく。医療機関や介護施設など公共性の高いところには、感染防止のための物品を支給済み。今後も国の交付金を活用して、医療検査機器や治療機器の導入を補助できないか検討中。

ぬって市民へアピーと挨拶しました。最後は、夕張ニコット前で、社民党と立憲民主の挨拶後、くまがい桂子共産党市議が「安倍政権を継承する菅新総理は、コロナ禍の国民生活を守ることより、戦後最大の軍費費を振り、戦争する国づくりを目指しています。市民と野党の共闘をさらに発展させ、野党連立政権で、立憲主義・民主主義をとりもどしましょう」と訴えていました。



くずさんの夕張歴史散歩 (144)

明治維新 58 朝鮮植民地支配 ④

武断統治から文化統治へ

民族の誇りをかけてたたかわれた三・一独立運動が、再び湧き上がることを恐れた日本政府と総督府は、新たな統治体制をとるなど一定の変化を見せます。

武力だけでの支配では無理とみて、民族運動を抑えつつ、より柔軟に、日本への同化を図る政策に切り替えたのです。

本質は変わらず

とはいえ、依然として武力での支配の本質は変わりません。「武断政治」を特徴付けた憲兵警察制度を廃止したが、憲兵や警察官・派出所は三倍にもなっています。

また、日本で制定された稀代の悪法「治安維持法」を朝鮮にも適用し、思想弾圧はますます強化されます。

文化政治のなかみは

1919年(大正8)年8月、新しい総督(第三代)に海軍大将加藤実が就きます。そして執ったいわゆる「文化政治」のなかみを見ると、

1920年、民間朝鮮語新聞の発行を相次ぎ許可します。これは、ふきつもの不満のけ口としての懐柔策でした。

また一定の条件を満たす団体には、結社や集会が認められます。当然、厳しい検閲の目が光っています。また、地方参政権が拡大され諮問機関が置かれますが、議決権は与えられません。このようなどころでも、日本人と並んで「有志」と呼ばれる朝鮮人の地方有力者が出現します。また、朝鮮人地方議員も生まれます。経済政策では、産米増殖計画が始まり、一部の朝鮮人地主が成長します。

こうして日本の政策に協力する特権階層、「親日派」を育てたのです。

* 朝鮮総督には陸海の大將と決められていたが、九代の総督中、海軍が就いたのは加藤のほか、すべて陸軍が占めます



畠山和也「かけある記」 前衆議院議員 畠山 和也

間違いを正して

「どのテレビも、菅首相を持ち上げていてみると、いどが味が悪い」。「つどい」で出された言葉に、参加された方は一様にうなずきました。苦労人の代表みたいに描かれる菅首相ですが、コロナ禍で仕事を失った方や、バイトができず退学を検討している大学生などに向けた言葉は何一つ聞こえません。

先週、小選挙区予定候補らと政府交渉をおこないました。まだ給付金が支給されない中小企業、赤字補てんがなく苦しんでいる病院・診療所、ひとり親世帯やDVに苦しむ女性の実態を次々とぶつけ、政府に迫りました。ある担当者は「予備費が七兆円以上あります」と応じましたが、それならデジタル庁より給付金こそ急ぐべき。国会を開いて議論をと、野党は三カ月も要求し続けているではないですか。

経済産業省は、「核のゴミ」最終処分場への文献調査に応じる自治体に交付金を出しますとキツパリ。交付金目当てに応募へ手を上げる自治体があつた場合はとの問いに、個別に審査するとしながら「国は甘いことはしません」とも。交付金を捨てるようなことをせず、いったん応じた調査なら最後まで――国の押しつけ宣言と受け止めました。

日本共産党中央委員会へ「しんぶん赤旗」を申し込まれた、ある道民のメールには次のように書かれています。「この日本を変えていかなければなりません。そのためには野党の力の結集が必要です。間違いを正して下さるあなたの方が必要なのです」。この熱い思いに応えたい。